資料①

北杜市における学校適正配置に関するこれまでの経緯

～北杜市の誕生（'04 年）から中学校統合計画（'14 年）の 10 年間～

◆ 2004（平成16）年 1 月 北杜市誕生（人口 44,080 人）

◆ 2006（平成18）年 3 月 北杜市に小淵沢町が合併（人口 50,109 人）

2007（平成19）年12月 北杜市立小中学校適正規模等審議会設置

（人口 49,703人：12 月現在）

《教育委員会からの諮問内容》＊以下の 3 項目の諮問を受け、教育委員会の説明及び資料に基づき審議

① 小中学校の適正規模に関すること。

② 小中学校の適正配置に関すること。

③ 小中学校の通学区域に関すること。

2009(平成 21)年 3 月 北杜市小中適正規模等審議会 答申

「北杜市立小学校・中学校の適正規模・適性配置・通学区域等について答申」

適正化の検討の背景

・少子化の進行
・学校規模格差（偏在）
・新市誕生

何を基準として「適正」としたのか？（基準）

・学級定員（1 学級あたりの児童・生徒数）1 学級 20 人以上
・1 学年の学級数…… 1 学年 2 学級以上
＊9p.【中学校の場合…】記述あり
1 学年：3 学級以上 1 学級：30 人以上

適正規模を考える視点―小規模の問題点― 答申書 5p.9p.参照

視　点	適正化の検討	（その他の記述）
教育・指導	・小規模が優れているとは言えない。 ・適性の規模の中で、子どもと教職員の信頼関係の構築により教育指導の実現が可能	・中学校については、同一学年、1 教員 1 教科（教員の複数配置・専門性）についての記述 9p
人間性・社会性の育成	・固定化された人間関係の中では、競争心・社会性が育ちにくい	・（メリット）生徒一人ひとりの個性や特性に応じた指導が出来る ・児童・生徒および保護者との人間関係が緊密化し、家族的な雰囲気の中で学校生活が営める。
教員配置	・学校全体の教員数の少なさは学校運営上の支障がある。	**地域連携**については、地域住民との結びつきが深められる事が記述されている。（メリット）
施設・管理	・余裕教室の有効活用にも管理上の問題	
行事	・運営が困難	

～～答申書 5p には「小規模校の問題点について検討を行った。」との記述がある様に、小規模校の課題解決から検討を行った結果の答申と言えるのではないか・・・～～

結果はどうなったのか？

小学校の適正配置の具体的方策

◎高根地区：清里小を存続しつつ、３校を統廃合➡２校へ統廃合（H25 年度までに）

◎長坂地区：３校➡１校へ統廃合

◎小泉小学校＝複合校を考慮しつつ１～２校へ

◎増富小学校➡在学児童０時点で「閉校」

明野・須玉・泉・小淵沢・白州・武川各小学校　➡現状維持

答申内容➡15 校を 10 校へ（最終的には市内６校程度（H29 目途）　**＊2021 年現在９小学校**

中学校の適正配置の具体的方策

◎学校数…市内３校

◎施設…既存の施設を利用

◎通学区域…現状の通学区域を行政区単位で組込む

◎通学手段…スクールバス・路線バス

◎実施時期…平成 21 年以降、平成 25 年度までに再編

＊答申から１年２か月後に以下の実施計画が北杜市教育委員会から提出された。

2010（平成22）年５月　北杜市立小中学校適正配置実施計画　　北杜市教育委員会

小中学校の統合計画

小学校の統廃合計画

①明野小学校（存続）

②須玉小学校（増富小学校との統廃合）

③高根統合小学校（高根東・西・北の３校統合）

④高根清里小学校（存続）

⑤長坂統合小学校

（日野春・長坂・秋田・小泉の４校統合）

⑥泉小学校（存続）

⑥小淵沢小学校（存続）

⑦白州小学校（存続）

⑧武川小学校（存続）

中学校の統廃合計画

◎中学校の組み合わせと新校の位置（8p）

中学校については、教科指導、生徒指導や部活等に支障をきたしていることから、早急に中学校教育の充実のために適正化を進めなければならないと認識しています。

答申は市内３校でありますが‥‥今後早急に組み合わせと新校の位置を明確にした配置案を作成し、関係者・関係機関に提示しながら話し合いを進めていきます。

2014（平成26）年2月　北杜市立中学校統合計画案　　北杜市教育委員会

４校案－１

①明野・須玉

②高根・泉

③長坂・武川

④小淵沢・白州

４校案－２

①明野・須玉

②高根・泉

③長坂・小淵沢

④白州・武川

３校案－１

①明野・須玉、白州・武川

②高根・泉

③長坂・小淵沢

３校案－２

①明野・須玉・武川

②高根・泉

③長坂・小淵沢、白州

２校案

①明野・須玉、白州・武川

②高根・泉・長坂・小淵沢

北杜市における学校適正配置に関するこれまでの経緯 ②
～第２次小中学校適正規模等審議会の設置（‘19）から～

2019（令和元）年8月　北杜市立小中学校適正規模等審議会設置（第２次）
（人口 46,876 人:8 月現在）

《教育委員会からの諮問内容》＊以下の３項目の諮問を受け、教育委員会の説明及び資料に基づき審議
① 小中学校の適正規模に関すること。
② 小中学校の適正配置に関すること。**（小中一貫教育等を含む）← （　）今回の追加記述**
③ 小中学校の通学区域に関すること。

これまでの議論

第１期メンバー
審議会委員　20 名
事務局　８名

第１回　2019(R1) 8月
・審議会への諮問（教育長より会長へ）
①経過報告　②審議スケジュール等について

第２回 2019(R1) 12 月
①地域説明会の資料について　②地域説明会の開催について

2020(R2) 1～2月　地域説明会

第2期メンバー
【審議会委員 20 名】
地区代表 8/8 名交代
PTA3/３名　交代
校長 2/2　交代

【事務局 7 名】
各リーダー３名異動
（総務 L,施設 L, 学校教育 L3 名,1 名減）

第3回　2020(R2) 7月
①地域説明会の結果報告について
②審議スケジュール等について　WG 設置承認➡

第4回　2020(R2) 9月
①第３回審議会のふりかえりと適正規模等の検討の方向性
②第１回ワークショップ資料について

第5回 2020(R1) 12 月
①小中学校適正規模等の検討の参考資料について
②第１回ワークショップについて

第6回 2021(R3) 3月
①小中学校適正規模等の検討に係る WS の概要と検討の参考資料等について
②令和３年度のスケジュールについて

2020(R2) 8月
第１回 WG

2020(R2)10～11 月
第 2～5 回 WG

第3期メンバー
【審議委員 20 名】
地区代表 7/8 名交代
PTA3/３名交代
校長 2/2　交代
【事務局 9 名】
新教育長・新教育部長参事が参加　新総務課長　教育指導監が参加, 学校教育担当リーダー異動

2021(R3) 5～6月　第１回 市民ワークショップ

2021(R3) 5～6月　小中学生へのヒアリング（事務局）

2021(R3) 7月　先行事例学習会 WEB 開催 長野県佐久穂町

第7回　2021(R3) 7月
①第１回北杜市立小中学校適正規模等検討市民 WS の結果について
②小・中学生へのヒアリングの結果について
③第２回北杜市立小中学校適正規模等検討市民 WS について

2021(R3)7～11 月
第 6～11 回 WG